

教 育 研 究 業 績

2021年 5月 1日

氏名 佐藤 章子

学位：修士（心理学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
臨床心理学	心理的障害、心理療法、レジリエンス、対人関係	
主要担当授業科目	臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ、心理実践実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ・Ⅻ	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1) ビデオを導入した授業の実践	平成 20 年 5月 28 日 ～平成 20 年 6月 2 日	東京女学館大学の「臨床心理学」の授業において、心理療法について「クライアント中心療法」の項の解説を行った後で、「グローリアと3人のセラピスト」の中のロジャースによる面接の映像を見せ、気づいた点や感想を記入して提出してもらった。次回の授業の冒頭で、感想、気づきを共有し、クライアント中心療法についての理解を深めることにビデオ教材を役立てた。
2) ロールプレイとグループ・ディスカッションを取り入れた授業の実践	平成 21 年 11月 16 日	東京女子医科大学看護学部の「透析生活支援技術—支援技術としてのカウンセリング」の授業において、5、6人のグループで2人は透析患者と看護師のロールプレイを行い、残りのメンバーはロールプレイを観察し、ロールプレイの終了後グループディスカッションを行った。ロールプレイとその観察を通じた体験を共有することで、カウンセリングにおいて重要な「共感」についての理解を深められるように工夫した。
2 作成した教科書、教材		
1) 思春期・青年期の臨床心理学	平成 20 年 5 月	思春期・青年期の発達段階に対応した問題について現代的視点から解説した教科書である。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
平成 28 年度年度評価	平成 29 年 6月 15 日	首都大学東京（現東京都立大学）の年度評価において、心理相談室での院生向けの実習指導などを行い、院生の「臨床心理士」資格取得に貢献しているとの評価を受けた。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
多摩中央病院における実習生（院生）の実習指導	平成 9 年 5 月 1 日～ 平成 19 年 3月 31 日	多摩中央病院（単科精神科病院）において、東京都立大学の実習生（院生）に対し、病院の実習指導者として実習指導を行った。実習指導の内容は「外来陪席」「心理検査」「病棟見学」「作業療法」等であった。
5 その他		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
臨床心理士	平成 11 年 4月 1 日	登録番号：07394
公認心理師	平成 31 年 2月 5 日	登録番号：11646
2 特許等		

3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 する 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 心理臨床 カウンセリングコースで学ぶべき心理学	共著	平成 13 年 9 月	垣内出版	編著者: J. D. ウィルキンソン/E. A. キャンベル 訳者代表: 田中平八・青木紀久代・尾見康博・田中吉史 訳者: 佐藤章子・小野滋 他 5 名 心理臨床を学ぶのに必要な心理学の概念について、基礎心理学領域も含めて概説された 11 章からなる原書の翻訳である。 (担当部分) pp. 75~99.
2 思春期・青年期の臨床心理学 (前掲)	共著	平成 20 年 5 月	培風館	共著: 永井徹・井上果子・佐藤章子他 9 名 思春期・青年期の発達段階に対応した問題について現代的視点から解説した教科書である。 (担当部分) pp. 14~36.
3 徹底図解心理学	共著	平成 20 年 8 月	新星出版社	共著: 神宮英夫・青木紀久代・佐藤章子他 9 名 心理学の基礎的な知識について図解を多用し、理解しやすいように工夫された解説書である。 (担当部分) 第 6 章 pp. 172~180
4 公認心理師 合格テキスト	共著	平成 31 年 4 月	誠文堂新光社	共著: 大山正、宮埜 壽夫、市原茂、下川昭夫、櫻井広幸、矢田部かなか 相澤林太郎・佐藤章子他 25 名 公認心理師資格を取得するのに必要な心理学の知識全般をブループリントに準拠して解説したテキストである。 (担当部分) pp. 168~176.
(学術論文)				
1 女子学生の性役割態度と自尊感情との関連—心理学的見地より—	単著	平成 5 年 9 月	学苑 (昭和女子大学近代研究所) 645, 29-38	日本は性役割 (性別役割分業観) に関して、「男は仕事、女は家庭」という考え方が根強いとされていた。また伝統的な女性の職業は価値が低いとみなされていることも指摘されてきたことから女子学生を対象として、性役割態度と自尊感情との関連について検討を行った。
2 登園しぶりを主訴として来談した女兒との遊戯療法過程	単著	平成 11 年 3 月	東京都立大学心理学研 9, 27-35.	登園しぶりを主訴とした女兒との遊戯療法の事例研究である。攻撃性の表出が見られるようになるのに伴い、自己表現も豊かに変化した。発症の背景と変化を生じたと思われるセラピストの関わりについて考察を行った。
3 精神障害者に対する偏見についての文献研究—国内の研究動向を中心として—	単著	平成 28 年 3 月	首都大学東京人文学報 512-4, 45-55	精神障害者に対しては、根強い偏見の存在が指摘されている。CiNii で精神障害者に対する偏見についての文献を検索し、先行研究における偏見の測定には、意識的に操作可能な質問紙調査が行われているため、偏見を正しく測定できていない点を指摘した。より正確に精神障害者に対する偏見を測定するために、潜在指標として臨床心理学の観点から投射法を導入することの意義を論じた。
4 自己愛研究の研究動向と展望—自己愛尺度作成の背景に焦点を当てて	単著	平成 29 年 3 月	首都大学東京人文学報 513-4、	DSM-3 において、自己愛パーソナリティの診断基準が示されたことを契機に「自己愛人格目録」

—			15-26.	(NPI)が作成された。この質問紙を用いた研究を通じて、最初は自己愛の「誇大性」が注目され、健康な側面ととらえられていたが、近年では防衛的な側面としての自己愛の「傷つきやすさ」が注目されている。このような自己愛の捉え方の混乱の原因について精神分析的立場から考察を行った。
(その他)				
(事典) 1 カウンセリング事典	共著	平成 16 年 7 月	新曜社	カウンセリングに必要な用語のほか、福祉関係の項目も充実させ、社会事情についても幅広く解説した事典である。 (担当部分) pp.90-91、173-174、186-187、315-316、710-711.
(学会発表) 1 性役割道程と自尊感情との関連性	共著	平成 6 年 10 月	日本心理学会第 58 回大会発表論文集、32. 日本大学	佐藤章子・斎藤悦子
2 自己-他者関係における主 的体験-摂食障害傾向とつまずきとの関連-	共著	平成 9 年 9 月	日本心理臨床学会第 16 回大会発表論文集 418-419 東北大学	佐藤章子・青木紀久代
3 青年期の心的傷つき-対象関係との関連から～	共著	平成 14 年 9 月	日本心理臨床学会第 21 回大会発表論文集、309. 中京大学	佐藤章子・青木紀久代
3 青年期から成人期における自己愛の発達的变化	共著	平成 29 年 10 月	日本精神衛生学会第 33 回大会抄録集、47. ルーテル学院大学	佐藤章子・酒井厚・広田すみれ

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。